

【学生の皆さんへ】

本学における生成系 AI の使用に関する取り扱いについて

近年、ChatGPT 等に代表される高度な生成系 AI の利用が急増しています。適切に活用すれば学習効果などが期待できますが、誤った情報を使用したり悪用すると、さまざまな問題を引き起こす可能性や危険性があると指摘されています。

本学では成績評価に係る試験や課題、レポートを作成に、**原則生成系 AI (ChatGPT 等) から得た内容を用いることは不可**とします、そのため、授業等で生成系 AI (ChatGPT 等) を利使用する場合には、必ず担当教員の指示に従い、以下の点に十分注意して下さい。

① 生成系 AI (ChatGPT 等) の利使用について(著作権を含む)

大学での学修は学生が主体的に学ぶことが本質です。生成系 AI (ChatGPT 等) が作成した内容等をそのままレポートや課題、卒業研究等として提出することは、学生自身の学びを深めることにつながらず、不適切であると考えられます。生成系 AI (ChatGPT 等) が作成した内容等に著作物の内容がそのまま含まれていた場合、本人がそのことに気づいているかどうかにかかわらず用いると、**著作権侵害**や**剽窃(ひょうせつ)**に当たる可能性があります。十分注意したうえで、利活用した旨や利活用した生成系 AI の種類・箇所などを記載するなどルールやその使用方法などについて、必ず担当教員の指示に従ってください。

※剽窃(ひょうせつ): 他人の著作を断りなく自分のものとして使用すること

② 生成系 AI (ChatGPT 等) の出力内容に虚偽が含まれている可能性について

大規模な言語モデルを活用した生成系 AI (ChatGPT 等) は、基本的に、ある語句の次に用いられる可能性が確率的に最も高い語句を出力し、文章を作成していくものです。そのため AI により生成された内容に虚偽情報や偏った内容が含まれている可能性があります。生成された情報を鵜呑みにせず、複数の情報源を参照するなど常に内容の**正確性**や**正当性**、**信頼性**、**信憑性を確認**、**裏付け**することを心がけて下さい。

③ 機密情報や個人情報の抽出・漏洩等の可能性について

生成系 AI (ChatGPT 等) に個人情報やプライバシー情報等を入力してしまうと、それらの情報が意図せず第三者に流出・漏えいしてしまう可能性があります。プライバシーやセキュリティの観点からも注意する必要があります。**絶対に入力しない**よう注意して下さい。また、生成系 AI の種類によっては、入力内容を生成 AI の学習に使用させない(オプトアウト)設定にしてください。

今後も生成系 AI の取り扱いについては、国内外の高等教育機関や文部科学省からの情報収集および学内での協議等を行い、教育・学習への活用を含め適宜検討していきます。

(参考資料)

- ・文部科学省:「大学・高専における生成 AI の教学面の取扱いについて(周知)」
(令和 5 年 7 月 13 日)
- ・九州医療科学大学:「九州医療福祉大学における生成 AI の教学面の取扱いについて」
- ・長崎大学:「ChatGPT 等生成系 AI への対応について」